

高等部 第2学年 国語科 古典B 学習指導案

日 時 ○月○日 (○) ○校時
場 所 高等部 2年○組教室
指導者 ○○ ○○

1 単元名 物語 (二) 平家物語 義経記

2 単元の目標

- (1) 軍記物の表現に注意して内容を理解しながら、合戦の場面描写を読み味わう。
- (2) 登場人物の生き方や考え方を読み取り、それぞれの人物像を捉える。

<評価規準>

| 関心・意欲・態度 | 読む能力 | 知識・理解 |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・分からない言葉を自ら調べるなど、積極的に内容を理解しようとしている。 ・時代背景や登場人物について読み味わったことを発表しようとしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・内容を構成や展開に即して理解している。 ・作者の思想や感情を読み取っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・和漢混交文の特色を理解している。 ・本文で用いられている音便や挿入句について理解している。 |

3 生徒と単元

(1) 生徒について

本生徒は、下肢の不自由のため車椅子を使用している。また、上肢も力が入りにくく、筆記には弱い力でも書字できるペンを使用している。筆記には約2倍程度の時間を要する。

これまで地域の中学校で学習し、本高等部に入学した。学習事項の活用がやや苦手で、歴史的・文学的に広がりをもって考えたり、自分自身や現代の価値観に置き換えたりして、多面的に考察したり、意見を述べたりすることは少ないが、学習態度はまじめで、教科書の予習や復習に毎日欠かさず取り組んでいるため、既習事項はきちんと身に付いている。

学校では友達と談笑することもあるが、客観的な、控えめな態度が目立ち、強く感情を表出したり自分の思いを積極的に発言したりすることは少ない。

(2) 単元について

本単元は、「平家物語」「義経記」の軍記物語2作品で構成されている。この物語には複数の人物が登場し、それぞれが、様々な場面で生き生きと躍動している。中世の戦乱の世という、現代との共通点を探るのは難しい世界ではあるが、命を懸けた人物の思いや覚悟は読者の胸に迫り、生徒が興味を持って読み進めやすいので、和漢混交体の韻律や特殊な語彙、文法事項など叙述にも配慮しながら、読み取りを深めさせたい。

本単元の教材文には複数の人物が描かれている。和歌への執念ともいえるべき思いを抱く人物がいたり、運命に逆らうように一心不乱に戦う同門を冷徹に見つめる人物がいたり、個性豊かである。これらの人物像を読み取ることで、生徒自身の人との関わりを再考する契機としたい。さらに、現代の価値観に置き換え、多角的な視点から、人間性や価値観や生き方を、生徒自身のものとして捉え、生き方や在り方について新しい気付きをもたらすことが出来るのではないかと考え、本単元を設定した。

(3) 指導について

- ・和漢混交体の韻律を踏んだ文章を読み味わうことが出来るよう、教材を繰り返し音読する機会を設定する。
- ・登場人物の生き方、在り方を読み取るために、「誰が」「何をした」などを叙述に即して取り上げ、現代語訳で確認する。
- ・それぞれの個性ある人物像を、生徒が自分のものとして捉えられるよう、一人一人の思いを丁寧に考える時間をとる。
- ・人物像を捉えたり、生き方をまとめたりする活動では、生徒が多様な価値観があることを意識できるよう、「自分ならこうする」「自分にはこの気持ちは分からない」という意見も大切にしていける。
- ・心情の読み取りや人物像の捉えを自分なりに表現できるよう、口頭で説明する、作文にまとめる、音読するなど、多様な表出の場を設ける。

4 指導計画（総時数 7時間）

| 指導計画 | 評価の観点と評価の方法 | 時数 |
|---------------------|--|------------|
| 1 「平家物語」について～祇園精舎 | <ul style="list-style-type: none"> ・作品の時代背景や成立、構成をおおまかに理解する。 知識・理解 ・適切に口語訳し、平家物語全体に流れる思想を説明する。 読む能力 | 1 |
| 2 「平家物語」～忠度の都落ち | <ul style="list-style-type: none"> ・忠度の芸に対する執念を読み取り、人物像を捉え表現する。 読む能力 | 2 |
| 3 「平家物語」～能登殿の最期 | <ul style="list-style-type: none"> ・合戦の描写を読み、登場人物の行動や発言から、人物像を捉え表現する。 読む能力 ・武士としてのそれぞれの生き方をまとめる。 関心・意欲・態度 読む能力 | 2 本時1/2 |
| 4 「義経記」～忠信、吉野山の合戦の事 | <ul style="list-style-type: none"> ・平家物語や他の作品に見られる義経について調べる。 関心・意欲・態度 ・叙述に沿って内容を読み取り、忠信の行動や心情を理解する。 読む能力 | 2 |

5 本時の実際

(1) 目標

- ・合戦の描写を読み、登場人物（教経）の行動や発言から、人物像を捉え表現する。

(2) 展開

| 本時（1時間目）の評価規準 | | | | |
|---|---|---|--|--|
| 読む能力：教経の行動や発言を根拠にして、人物像をとらえ、説明したり音読したりする。 | | | | |
| | | A（十分に評価できる） | B（概ね満足できる） | C（努力を要する） |
| 評価基準 | 読 | <ul style="list-style-type: none"> ・教経の行動や発言を正しく読み取って人物像を説明し、教経の最期の部分を表現豊かに音読する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教経の行動や発言を正しく読み取って、「多くの敵を倒したつわもの」など人物像を説明する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・教経の行動や発言を読み取り、人物を説明する文を教師と一緒に考える。 |

| 時間 | 学 習 活 動 | 教 師 の 主 な 支 援 | 準備物 |
|-----|--------------------------|---|-------------|
| 10分 | 1 全文を音読する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・音便や挿入句に注意しながら、リズムカルに読むよう伝える。 | |
| 10分 | 2 大意を発表する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・予習した大意を発表する際、分からなかった個所については該当の本文を板書し、前後の文を訳しながら語句を確認する。 | プリント |
| 20分 | 3 教経の行動や発言を取り上げ、人物像を考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・行動を表している本文の箇所を短冊で確認しながら、簡潔に分かりやすく現代語訳したものを板書する。 ・「我と思はん者どもは〜」「いざ、うれ〜」などの教経の発言は、本文のまま取り上げる。生徒が自ら教経の考えなどを説明出来た時は称賛する。 ・「多くの敵を倒した」「海に入り自殺した」などの発言が出たら、そうせざるを得なかった状況や、武士としての生き方を考えさせるよう、行動の理由について質問する。 | 短冊 人物の画像 |
| 10分 | 4 教経の心情を理解して音読する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・心情を理解し、生徒が表出できるように、教経が最期に海へ入っていく部分を教経になりきって音読する。 ・大きな声で音読できた時は拍手で称賛する。 ・教経の人物像をまとめる作文は、次時までの課題とする。 | |